



「第149回天皇賞(春)」

フェノーメノ号

5月4日、京都競馬場(3200m芝コース)で行われた第149回天皇賞(春)で美浦トレーニング・センター戸田博文厩舎所属のフェノーメノ号が昨年に引き続き優勝し、2連覇を達成しました。

スタート後は集団の中程に位置取り、勝負どころまで前方を伺いながら今年も軽やかに芝生を駆け抜けていくフェノーメノ号。最終コーナーの手前から徐々に集団の前に進み、ゴール前の直線に入るとスパート。最後は4頭の競り合いを制し先頭でゴール。見事に天皇賞(春)2連覇を達成しました。

担当の箕輪厩務員は、「入厩してから次の出走までの2カ月間は、体力や筋肉を戻すためいろいろ調整して大変でした。そのレースは残念な結果でしたが、天皇賞までの1カ月は見込んだとおりで1回使うと絶対に良くなる自信はありました。レース前は昨年と同じような雰囲気が出ていたので、これはやってくれと。最後の競り合いでもこの差はかわされなと思っていました。」と語ってくれました。見事に天皇賞(春)2連覇を達成したフェノーメノ号。放牧後は天皇賞(秋)を目指すそうです。期待しましょう。



戸田 博文 調教師 蛭名 正義 騎手 箕輪 金幸 厩務員

「第16回中山グランドジャンプ」 アポロマーベリック号



堀井 雅広 調教師 五十嵐 雄祐 騎手 瀬戸口 寛 調教厩務員

4月19日、中山競馬場(4250m芝コース)で行われた第16回中山グランドジャンプにおいて、美浦トレーニング・センター堀井雅広厩舎所属のアポロマーベリック号が優勝しました。

J・G I 2連勝の期待を背負い1番人気での出走となったアポロマーベリック号はスタート直後から先頭に立つと、常に後続を3馬身以上リードする展開。道中の障害物を軽やかに飛越していき、最後まで後続を寄せつけず5馬身差をつけて圧勝しました。

担当の瀬戸口調教厩務員は、「入厩後は順調に調整でき、前レースでも重いハンデながら凄い勝ち方をしたので、自分の競馬をしてくれればと思っていました。J・G I 2連勝の周囲の期待からそれなりにプレッシャーはありましたが、いつもと変わらないようにすることを心掛けていました。レースで最後の障害物を飛んだ後は『早くゴールしてくれ』と。ゴール後、この馬の凄さを実感しました。」と語ってくれました。素晴らしい走りでもG I 2連勝を達成したアポロマーベリック号は現在放牧中だそうです。さらなる飛躍に備えて、ゆっくり静養してください。

気軽に行ける美浦トレーニング・センターの施設

乗馬苑



乗馬苑広場を一般開放しています。

- ◇一般開放日時 午前9時～午後5時
(11月～2月は午前9時～午後4時)
- ◇休苑日 毎週月・火曜日および年末年始
- ◇入場料 無料
毎月第2日曜日は馬とふれあえるイベント「ウマシタ」を開催しています。(事前予約制)

《お問合せ先》美浦トレーニングセンター ☎029-885-2111(代表)

ターフプラザ



ターフプラザ(広報会館4階)から、南調教馬場や厩舎地区を一望することができます。美浦トレセン所属馬のG I 優勝パネルやレプリカゼッケン等、様々な展示品があります。

- ◇開館日 毎週土・日曜日、月曜競馬開催日
- ◇開館時間 午前9時～午後4時30分
- ◇入場料 無料

「第74回皐月賞」

イスラボニータ号

4月20日、中山競馬場(2000m芝コース)で行われた第74回皐月賞において、美浦トレーニング・センター栗田博憲厩舎所属のイスラボニータ号が優勝しました。

好スタートから集団ほぼ中央につけた後、レースの後半に入ると徐々に前に位置取り、最終コーナーの出口では4番手につけたイスラボニータ号。ゴール前の直線に入ると一気に加速し、前を走る3頭を左から追い抜きゴール。見事に優勝しました。

担当の佐藤調教助手は、「まだ遊びたがる少年のような仔ですが、今年に入ってから大人になってきて、精神的に成長しながらこのレースに向かえたように思います。ゴール後、まずは無事だったことでホッとした気持ちが一番にきました。自分は感情的なタイプではないので、G I を勝ったことについては静かに喜んでいました。周囲から関東馬頑張れと応援していただけて嬉しいです。」と語ってくれました。

初めての右回りコースでもいかに実力を発揮してG I を初制覇したイスラボニータ号。これからも素晴らしい走りでも周囲を魅了することでしょう。



栗田 博憲 調教師 蛭名 正義 騎手 佐藤 良児 調教助手